

アカデミック・スキル・バスケット 「若手研究者技能登録システム」

さまざまなスキルをもった若手研究者を登録し、本研究院の教員や委員会の依頼に応じて業務を担当していただき、そのスキルを活かしてもらう制度です。



業務に応じて、短期支援員として雇用する場合と、謝金を支給する場合があります。

登録は随時受け付けていますので、研究推進室までお問い合わせください。

若手研究者向け情報提供 メーリングリスト Let_wakate

研究推進室では、メーリングリストを通じて、助成金情報やイベント情報、教員公募情報等、若手研究者に関わる情報を提供しています。ポスドク向けの情報が中心ですが、大学院生が応募可能な助成金情報等もたくさんありますので、関心のある方は、是非ご登録ください。

登録をご希望の方は、研究推進室まで

各支援の詳細は・・・
公式ウェブサイトをチェック！

トップ> 総合> 学生生活

<https://www.let.hokudai.ac.jp/general/research-support>



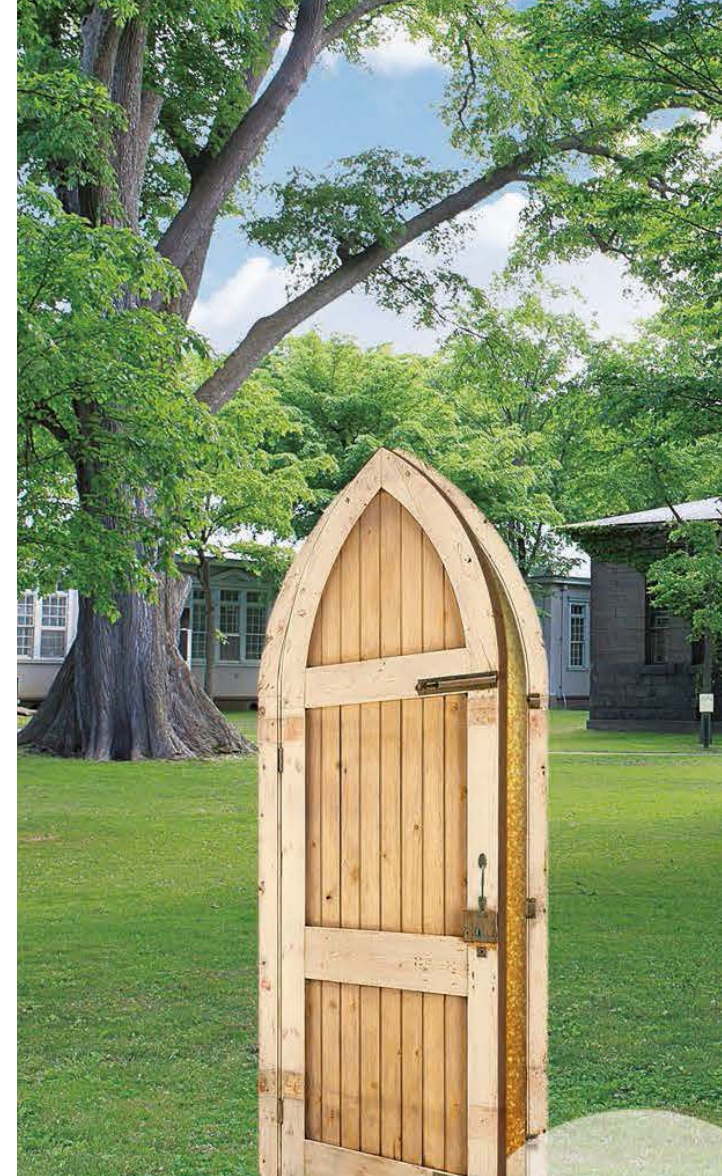
お問い合わせは
大学院文学研究院 研究推進室 へ
研究推進室では、大学院生・若手研究者の研究活動をバックアップします。
どうぞお気軽にご来室ください！
閲覧用資料もあります。



大学院文学研究院 研究推進室

研究棟203室
kenkyu@let.hokudai.ac.jp
TEL : 011-706-4023/4083

<https://www.let.hokudai.ac.jp/>



北海道大学
大学院文学院

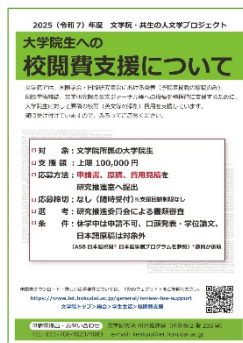
大学院生の
みなさんへ

若手研究者支援について

2025.4.改訂版

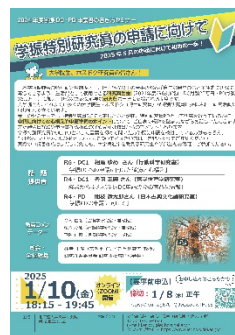
共生の人文プロジェクト

院生の研究活動にかかる経費支援（Graduate Grant Program）として、旅費支援とオンライン学会参加費支援、校閲費支援とがあります。



若手研究者研究支援セミナー

研究推進委員会主催の若手研究者向けセミナーを年に3回開催しています。



大学院生支援セミナー

今、読んでいるこのリーフレットで紹介している大学院生への支援のほか、院生図書費支援、研究論集・英文ジャーナル、さらに学内で文芸院生が利用できる支援について詳しく説明します。今すぐ必要でなくても、研究活動でいつか必要になった時のために、ぜひご参加ください。



<院生旅費支援>

大学院生の国際学会・全国学会での研究発表および研究調査にかかる旅費を支援するものです（主に航空運賃の支援。***今後変更になる可能性あり**）

出発時期によって応募時期が異なりますので、ポスターやウェブサイトをご確認ください。

申請後、研究推進委員会による審査によって採否が決まります。1年度に受けられる支援は、学会が調査のどちらか一回です。

※学振DC及びフェローシップを受けている方は申請できません。

※学会日程未定・採択前でも申請可能です。

<校閲費支援>

国際学会・国際研究集会での発表および国際学術雑誌・本研究院英文ジャーナル等への投稿を積極的に支援するために、大学院生に対して発表原稿や投稿原稿の校閲料を支給します。

申請後、審査があります（申請は随時受け付けています）。支援回数に制限はありませんので、何度でも応募できます。

<研究支援セミナー>

若手研究者に関心の高いテーマで、セミナーを開催しています。これまで学術出版、アカデミック・キャリア、海外での研究活動など取り上げてきました。昨年は、初めて“社会連携”をテーマとしたセミナーを開催しました。

<申請書の書き方セミナー>

日本学術振興会特別研究員（DC/PD）への申請を支援するため、申請書の書き方セミナーを年に2回開催しています。例年、冬には翌々年度採用分の申請（翌年度に申請）する準備に向けたテーマのセミナー、3月により実践的な、個別相談会を開催します。

特別研究員への採用経験のある若手研究者や、応募・採用経験のみならず審査員としての経験のある教員を話題提供者として、経験談やアドバイスを語っていただきます。セミナーの話題は、申請書の書き方にとどまらず、研究の進め方、研究者としての心がまえ、キャリアパスなど幅広い領域におよびます。

リサーチ・アシスタント(RA)制度 ポスター作成支援

リサーチ・アシスタント採用者は、1年間の研究成果を広く一般の方々に伝えるため、アウトリーチ活動の一環として成果をポスターにまとめ、発表しています。研究推進室では、ポスター発表に際し、RA向けにポスター作成支援を行っています。

